

東洋産業だより

Vol.256

窓や壁につくイヤな虫たち対策
-便利グッズのご紹介-

気温も上がり、新緑も眩しい季節になりました。私たちの頭を悩ませる生き物も元気になる時期です。今回は虫が目立つ窓や高い場所対策のグッズをいくつか紹介いたします。

①高い場所にはロングポール

灯具周辺には虫が集まります。掃除をしたいけど手が届かない、脚立やはしごに上がるのは事故の危険や準備が大変…そんな時には柄の長い清掃用具などを使うとよいです。

高所の清掃・処理には
ロングポールがおススメ！



高い軒にも
楽々届く！

高所清掃用のロングポール（画像のものは最大2.6m）や、高所で殺虫剤を噴霧するための「エアロング」（最大6.8m）などで安全・確実に作業を行うことができます。

②クモの巣除去専用ポール

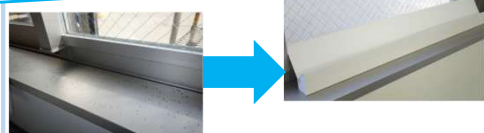
高い場所に蜘蛛が巣を張って汚いし、上から糞が落ちてきて汚れる…そんな時には「クモの巣バスター」。電動で先端がビヨンビヨンと回る不思議な棒。クモの巣を絡めとって回収します。ホウキなどと違って除去後からみついた巣はするっと簡単にふき取ってお手入れができるのもうれしいポイント！面白いように蜘蛛の巣が取れます。

蜘蛛の巣をわたあめのように
絡めとる「クモの巣バスター」



蜘蛛の巣除去のために開発された専用の除去棒。長さは最大2m。効率よく除去、お手入れも簡単で清潔に使用できます！軒のクモの巣にお悩みの方、是非ご採用ください。

窓の内側に溜まる虫を見えないように
キャッチ！「フライヘルウインドウ」



紙製で窓の大きさに合わせて加工も簡単、カラーバリエーションは3種類。カメムシやアブ、大型のハエ類などの大きな虫もこれでキャッチ！窓用の殺虫剤と併用で、落ちてくる死骸やゴミも窓際に落とさない！

③窓の内側に溜まる虫をキャッチ

窓の内側に集まる虫、ゴミや死骸も見えないようにキャッチ。お客さまの入り口やショーウィンドウ、飲食店の窓などにおすすめです。

窓や壁につくイヤな虫に頭を悩ませている方はぜひ一度ご相談ください。

べたつきにくいおススメ殺虫剤を
さらに便利に、トリガーとロングノズル



ピンポイントに、さらに使いやすく。別売りの全長70cmロングノズル、スプレーハンドルのご利用で、楽々作業！フライヘルウインドウとの併用もおススメ。シーンに合わせた殺虫剤の選択もお任せください！

今月の豆知識

灯具周りのクモの巣、クモは明るい場所が好き？

軒や天井の空間に目立つクモの巣。あんなに目立つ場所に巣を張るクモは明るい場所が好きなのでしょうか？それとも目立ちたがり屋なのでしょうか？

クモにはたくさんの仲間がいて、外の植物や塀などに立派な巣をつくるジョロウグモなどは昼でもじっと巣の真ん中に居座っていることが多いですが、灯具の周りに巣をつくる小型のクモは日中の光はあまり好きではないようです。昼にクモの巣を見ても空き家になっていることが多いですね。例えば「イエオニグモ」という建物の軒や天井でよく見られるクモは、昼間は巣を張りません。薄暗くなって虫が灯具に集まり始めるころに隙間から出てきて、短時間で巣を張って獲物を待ち構えます。まんまと罠にかかった獲物でお腹いっぱいになると、

また暗い隙間に隠れてしまい、次の日の夕方くらいまでは出てきません。あとには食べ残された虫がついた巣と、真下に落ちた黒や白の水滴のような糞が残されます。このクモは夜行性で、光が好き、というよりも本能的に「光には虫が集まる」ことがわかっているから光の周りを好むのかもしれません。ちなみに巣は毎日新しいものを張りなおすので、一度使った巣は放棄されます。このためこのクモに気に入られた場所は虫やゴミが絡まった残骸まみれになります。

夜、私たちが寝静まったところに飛んでくる害虫をたくさん捕まえてくれるのはいいのですが、ゴミを残していくのは困りものですね。

